

# #10 赤はアカンか, アカンくないか

心理学@岐阜薬科大学2020

1

## メニュー

- 赤は「アカン心理」を喚起させる
- 赤は「アカンくない心理」を喚起させる

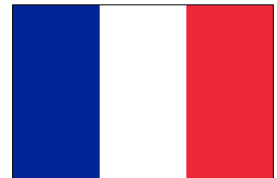
2

## 色へのアプローチ

- 物理学：光線の周波数
- 生理学，神経学：目と脳の解剖学的構造，後頭葉での視覚処理
- 動物行動学：繁殖期における体表変化，有毒生物
- 心理学：色の心理的効果

3

## 赤と青：代表的なシンボル対比



自由  
平等  
友愛

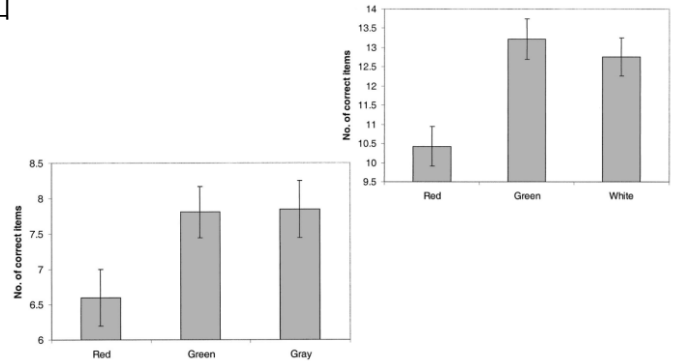
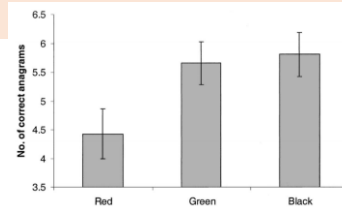
対応は不明



4

## 赤と学力 (Elliot et al., 2007)

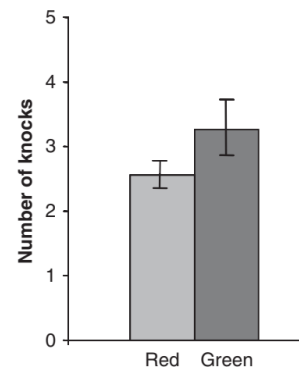
- 実験1：被験者番号の色と15問のアナグラム課題
- 実験2, 3：表紙の色とアナロジ課題
  - 実験2は赤, 緑, 白
  - 実験3は赤, 緑, 灰
- 実験4：表紙の色と数的処理課題



5

## 赤と動機づけ

- 赤とノックの回数 (Elliot et al., 2009)
  - 被験者に受けてもらう課題の例題が書かれた白いバインダーを渡す
  - 開けると「アナロジ」という文字が, 赤か緑の紙に書かれている
  - テストの部屋のドアには「Please knock」



6

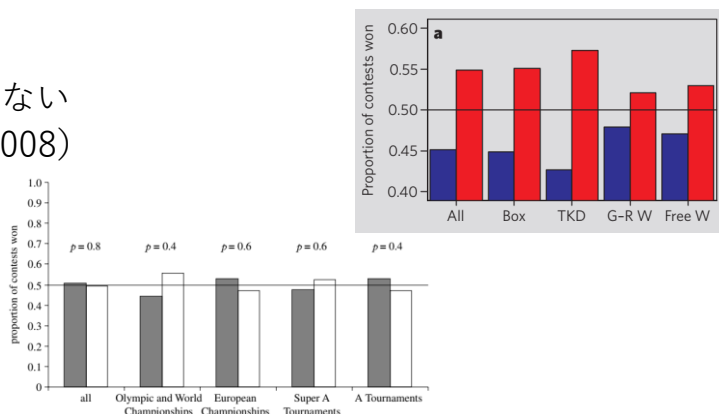
## 赤は潜在意識に作用する

- 実験後に「実験の目的が何か」を見抜ける被験者はいない
- 赤は「回避動機づけ」を喚起させる
  - 知能が試される場合は「評価懸念」を高める
- 後天的理由：赤信号、採点など、赤と不安の随伴経験？
- むしろ、進化生物学的な理由か？
  - アカゲザルは赤よりも青い服を着た人から餌を奪う (Khan et al., 2011)

7

## 赤とスポーツ

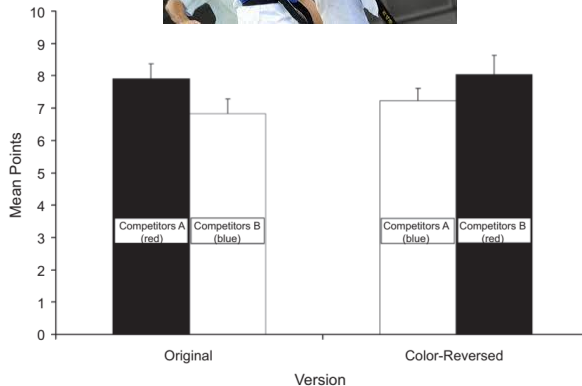
- 赤い防具やユニフォームを身につけた選手は、青の選手よりも勝率が高い (Hill & Barton, 2005)
  - 2004年アテネ五輪：ボクシング、テコンドー、レスリング（グレコローマン、フリースタイル）
- 柔道の青vs.白では差がない (Dijkstra & Preenen, 2008)
  - アテネとその他の大会



8

## 赤と審判員 (Hagemann et al., 2008)

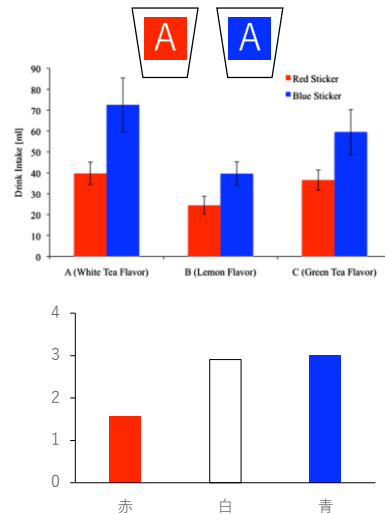
- テコンドーのベテラン審判員42人に、実力互角の5選手の対戦動画を見せ、採点させた
- 二度目は、デジタル処理により防具の色を入れ替えた同じ動画を見せ、採点させた
  - 当然、順序効果を排するために、処理済み動画が先の被験者もいる
- 審判員も「赤の優位性」の影響を受けている



9

## 赤と食行動 (Genschow et al., 2012)

- 実験1：3つのお茶の試飲
  - 試飲量：赤ステッカー < 青ステッカー
- 実験2：調査後の休憩で出された10個のプレッツェル
  - 摂取量：赤皿 < 白皿 = 青皿
- 赤 = 回避の自然なシグナル
  - 巷でいう「青」のダイエット効果は、普段見慣れた色を青にするという後天的作用

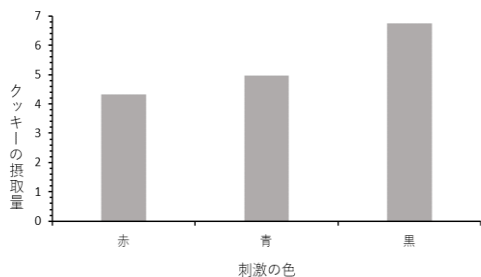


10

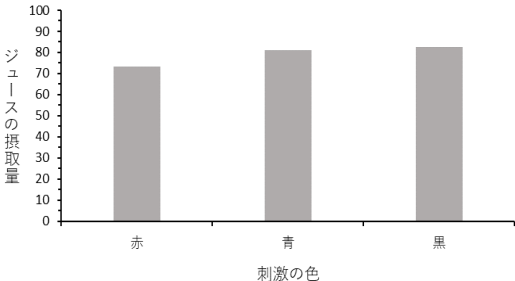
# 私のゼミ生の研究 (荻野・月元, 2019)



ブルボン  
『プチフランスバター』  
16個



CALPIS  
『カルピスウォーター』  
100ml



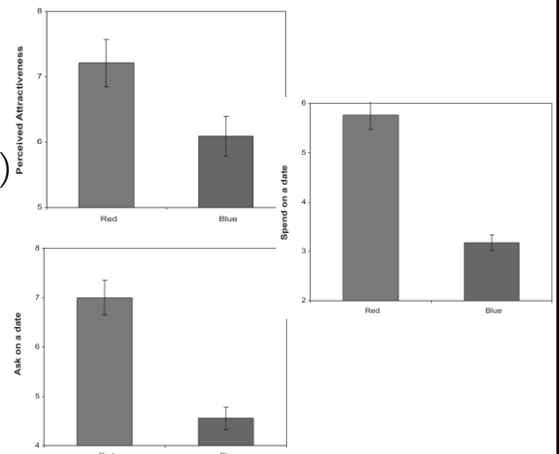
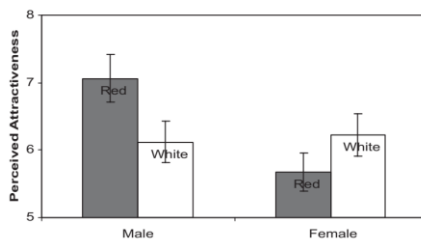
## Romanticな赤

- 恋愛や性, 情熱
  - 社会的事象: バレンタイン, 口紅, バラ, ドレス
  - 進化生物学的事象: ヒヒやチンパンジーの繁殖期 (メスの顔面, 胸部, 性器等)



## 赤で魅力的に見える (Elliot & Niesta, 2008)

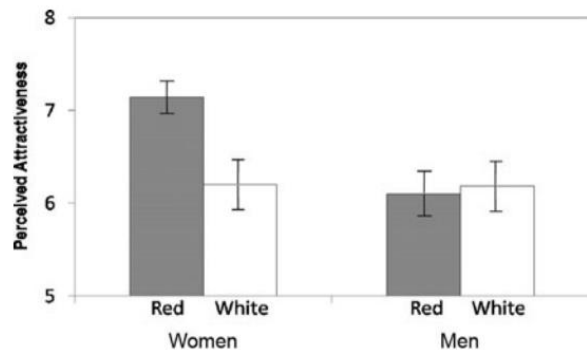
- 女性の写真の背景色を操作して、被験者に魅力度評定させる
  - 青や緑よりもやっぱり赤
- 女性被験者は「赤 + 女性」を  
“敵視”する傾向 (Pazda et al., 2014)



13

## 男性 + 赤はどうなの？ (Elliot et al., 2010)

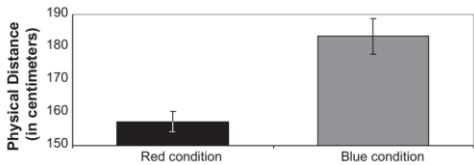
- 赤のロマンティック効果は異性に限定的



14

# 行動データで見る赤の効果

- 女性が座る予定の椅子の近くに自分の椅子を置く（Kayser et al., 2010）
  - 距離：赤いシャツ<青いシャツ



- 赤いTシャツの女性ヒッチハイカーに男性ドライバーは車を止めやすい（Guéguen, 2010）

TABLE I. Percentage of motorists who stopped according to experimental condition and gender of motorist.

Group	T-shirt color					
	Black	White	Red	Yellow	Blue	Green
Male motorists (N = 3474)	12.48%a (64/513)	13.98%a (71/508)	20.77%b (103/496)	14.89%a (77/517)	14.11%a (68/482)	13.17%a (67/508)
Female motorists (N = 1776)	5.98% (18/301)	7.12% (22/309)	9.03% (25/277)	9.60%a (29/302)	6.69% (19/284)	5.28%b (16/303)

Percent with different letters are statistically different.

15

# 私のゼミ生の研究 (in preparation)

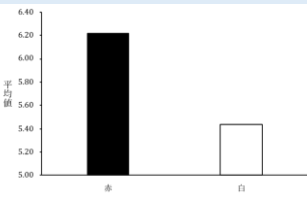
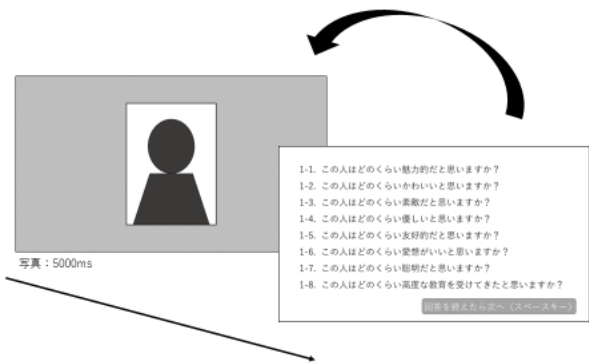


Figure 2 魅力得点の平均

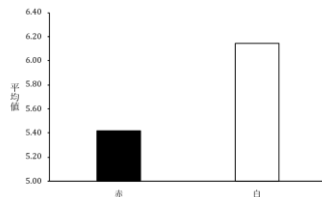


Figure 7 愛想得点の平均

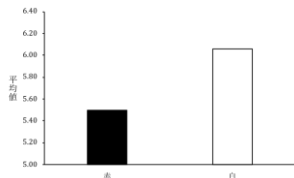


Figure 6 友好的得点の平均

16



## まとめ

- 赤は優位を表す
  - 時に回避動機づけを喚起させ，時に魅力を感じさせる
- 赤は身体を使う課題のパフォーマンスを向上させる
- 赤は頭を使う課題のパフォーマンスを低下させる

17

## レポート課題

分量は問わないが，説得力のある記述であること。

授業でお話した通り，これまでのコメントを眺めながらレポート評価を行います。特に，レポートの出来が及第か落第かのボーダーラインの場合は，これまでのコメント記述の質が影響してくると思って下さい。

レポートはワードファイルもしくはテキストファイルで，メールで提出。

締め切りは2021年1月15日（金）。

18